

2024年度 一般社団法人日本社会福祉学会定時社員総会 報告

第8期総務担当理事 木下 武徳(立教大学)

一般社団法人日本社会福祉学会2024年度定時社員総会は、2024年5月26日(日)10時から、明治学院大学白金キャンパス本館2階1201教室にて開催された。

議案はすべて承認され、11時50分に解散した。

I. 会長挨拶

一般社団法人日本社会福祉学会空閑浩人会長より開会挨拶があった。

II. 定足数確認

総務担当理事より、社員153名で定足数78名に対して、現在の社員出席者が138名(委任社員94名を含む)となったことから、定款第31条ならびに定款第32条に基づき、2024年度定時社員総会を開催し、空閑会長が議長となり議事を進行するとの開会宣言があった。

III. 議事録署名人の選出について

定款第37条第2項に基づき、議事録署名人として大島巖監事、岡部卓監事を選出した。

IV. 議事

第1号議案：(一社)日本社会福祉学会2023年度事業報告・決算・監査報告について

議長から、2024年4月30日に大島巖監事、岡部卓監事により監査が行われた「2023年度事業報告及び決算・監査報告」について審議していただきたいとの趣旨説明があった。

まず2023年度の事業報告について、総務担当理事より配付資料に基づき報告があった。学術研究集会の開催、学会機関誌の刊行、研究奨励・研究業績の表彰、関連学術団体との連携、国際的な研究活動の推進の報告があった。また、学会の組織運営に関して、会員の動向、総会・理事会及び運営委員会の開催、監査、各種委員会の活動、各地域ブロックの活動状況の報告があった。

引き続き、室田信一財務担当理事より、2023年度の学会本部事業、全国大会運営事業、出版事業、及び各地域ブロックの財務状況を含めた決算報告について、配付資料に基づき報告があった。

その後、大島監事より、学会業務及び経理に関わる監査報告があり、適正に業務の遂行及び予算の執行がなされているとの報告があった。

審議の結果、一般社団法人日本社会福祉学会2023年度事業報告及び決算・監査報告が賛成多数により承認された。

第2号議案：(一社)日本社会福祉学会第9期役員承認について

議長からの趣旨説明に続いて、定款第16条により、本日の2024年度定時社員総会終結をもって任期が終了する第7期代議員の後任選出のため、第8期代議員選挙の実施及びその結果について、選挙管理委員会担当である木下より報告した。

さらに、定款第21条により、本日の2024年度定時社員総会終結をもって任期満了となる第8期

役員の後任選出のため、第8期代議員による第9期役員候補者選挙の実施、及びその結果について報告を行った。

総務担当理事より、第9期選挙理事候補者による推薦理事候補者選出会議を開催し、推薦理事候補者6名が推薦された旨の報告があり、第9期役員候補者22名の氏名が紹介された。

審議の結果、第9期役員承認について、賛成多数により承認された。

第3号議案：(一社)日本社会福祉学会名誉会員規程の改正について

議長からの趣旨説明に続いて、木下総務担当理事より、「一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程」第4条3項について、名誉会員からの要望により地域ブロック主催の研究大会等の参加費にも適用されるよう、「全国大会への参加費が免除される。」から「全国大会ならびに各地域ブロック主催の研究大会等への参加費が免除される。」と改正する旨が配付資料に基づいて説明された。

審議の結果、「一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程」の改正が満場一致で承認された。

第4号議案：(一社)日本社会福祉学会2024年度事業計画及び当初予算について

議長からの趣旨説明に続いて、総務担当理事より2024年度事業計画の説明があり、その内容に基づいて室田財務担当理事より当初予算の説明があった。概ね2023年度を踏襲した事業計画及び当初予算を作成していることを確認した。

審議の結果、2024年度事業計画及び当初予算が賛成多数により承認された。

第5号議案：名誉会員の推挙について

議長より、2024年3月3日開催の理事会にて、定款第6条ならびに一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程に基づき、本会の発展に多大なる貢献をされた白澤政和会員、黒木保博会員および牧里毎治会員を名誉会員として推挙することが承認されたとの趣旨説明があった。

審議の結果、名誉会員への就任が満場一致で承認された。

第6号議案：その他

特になし。

V. 報告

1. 第8期代議員選挙について

第2号議案の際に報告済みである。

2. 第9期役員候補者選挙について

第2号議案の際に報告済みである。

3. 学会のあり方検討委員会からの報告

議長からの趣旨説明に続いて、総務担当理事より配付資料に基づいて、報告があった。

本会が抱える課題の解決に向けては、事業を横断的に、長期展望を持って検討する必要があることから、2021年7月に設置した学会のあり方検討会を常設委員会「学会基本構想委員会」とするとの説明があった。

4. 学会基本構想委員会の発足について

報告事項3.の際に報告済みである。

5. その他

・新役員挨拶

議長より第9期役員の紹介があり、第9期役員を代表して和気純子会員より挨拶があった。

議長より、新たに名誉会員となられた白澤政和名誉会員、黒木保博名誉会員および牧里每治名誉会員への祝辞および表彰楯の贈呈があった。次いで、白澤政和名誉会員、黒木保博名誉会員および牧里每治名誉会員より順番にご挨拶を頂戴した。出席者より新名誉会員3名へ盛大な拍手が贈られた。

議長は、議事終了の旨を告げ、11時50分 2024年度定時社員総会を解散した。

以上